

資料 8

男女共同参画の視点と政府開発援助における公平性の確保に関する事例

(1) 村落開発における女性の積極的な参画と受益を確保した事例

国名/案件名	ネパール/村落振興・森林保全計画
実施期間	第1フェーズ：平成6年～平成11年 第2フェーズ：平成11年～平成16年
援助形態	プロジェクト方式技術協力

ア プロジェクトの概要

村落の生活水準向上のための事例的村落振興活動を通じて地域の土地生産性の向上及び自然環境の改善に寄与することを目的として、住民男女のニーズに基づく村落振興計画の作成、実施、評価等の手法開発、実施等を行うもの。

イ プロジェクトにおける影響

本プロジェクトでは、村落共有林の利用者でありながら、社会的に不利な立場にいる女性の参画を促進するため、開発委員会の女性の割合を50%まで引き上げること等を含むガイドラインを策定し、女性の意見が地域の開発に反映されるようにした。プロジェクトの結果、住民男女による歩道づくり及び植林活動、女性組織による所得向上活動及び識字教室等が実施された。

(2) 理数科教育における女性の参画を促した事例

国名/案件名	ケニア/中等理数科教育強化計画
実施期間	平成10年～平成16年
援助形態	プロジェクト方式技術協力

ア プロジェクトの概要

本プロジェクトは、パイロット地域において職員研修により中等教育レベルの理数科教育を強化することを目的として、カリキュラム、マニュアル及び教材の作成、評価システムの整備、職員研修及び教育マネージメント研修の実施、情報交換システムの整備等を行うもの。

イ プロジェクトにおける影響

被援助国カウンターパートが女子に対する理数科教育の重要性、女子教員の増加の必要性及び教師のジェンダー理解の必要性に対する深い認識を有したことから、プロジェクトの実施においては、研修モジュールにジェンダー認識トレーニングを採用し、その結果、理数科教師に教育へのジェンダー配慮を行う必要性の理解が深まった。また、女子に対する理数科教育の促進により女性の理数科教師の増加、女子に対する理数科教育の更なる強化等が期待されている。

(3) 女性の研修に対する機会に影響を及ぼした事例

国名/案件名 スリランカ/繊維製品品質向上計画
実施期間 平成8年～平成13年
援助形態 プロジェクト方式技術協力

ア プロジェクトの概要

本プロジェクトは、繊維研修サービスセンター（TT&SC）及びアパレル産業研修センター（CITI）の技術指導教官の能力向上を通じ、同分野の民間部門の技術振興を図ることを目的として、TT&SCでは紡績、織物・編物技術、染色整理加工技術等について、CITIでは品質保証とアパレル技術等について、それぞれ技術指導教官の能力向上のための技術指導を行うもの。

イ プロジェクトにおける影響

TT&SC及びCITIとも、企業から派遣されてくる研修生及びそれ以外の研修生がいる。男性研修生の場合は、通常企業から派遣され、その派遣元企業が講習料を負担しているが、女性研修生の場合は、自らの意思で参加し、講習料を自ら負担するが多い。両センターとも受講料は高く、受講料を負担していることが多い女性の参加を阻む要因となっており、男性との格差が拡大する可能性がある。

(4) 女性世帯の融資の機会へ影響を及ぼした事例

国名/案件名 バングラデシュ/農業開発信用事業（グラミン銀行）
借款契約調印 平成7年
援助形態 有償資金協力

ア 事業の概要

本事業は、グラミン銀行を通じて井戸、生産機器等の生産財に対する融資を無担保にて供給することにより、バングラデシュ農村部における土地を持たない貧困層の生活・生産活動等を支援するもの。グラミン銀行は、昭和58年にグラミン銀行法に基づき設立された特殊銀行である。5人一組の連帯保障に基づく貸付方式により無担保にて小額資金貸付け（マイクロクレジット）を行う。

イ 男女共同参画への影響

本事業により、マイクロクレジット加入者による収入及び貯蓄の増加、女性の家庭内における地位向上等の面で効果があった。しかし、マイクロクレジットについては、ほとんどの場合男性世帯によって活用されており、寡婦や家族に成人男性がいない最貧困層の世帯はほとんど加入できなかった。